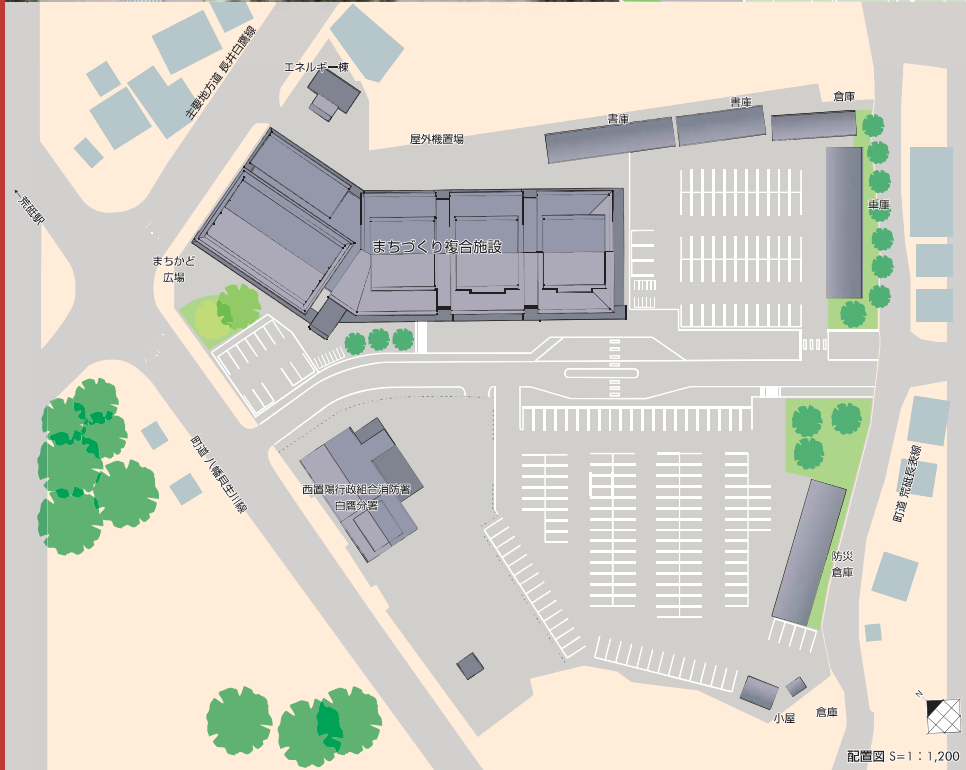




白鷹町まちづくり複合施設



令和2年度木材利用優良施設コンクール 内閣総理大臣賞 受賞

■ 建築概要

事業主 白鷹町

設計・監理 建築 / 環境デザイン研究所
 構造 / 株式会社 山田豊明構造設計事務所
 電気 / 大瀧設備事務所
 機械 / 株式会社 イーエスアソシエイツ 一級建築士事務所

施工 【まちづくり複合施設、エネルギー棟、書庫棟、車庫棟、書庫（移築）】
 那須・鈴木特定建設工事共同企業体
 【防災書庫棟】
 丸ト建設

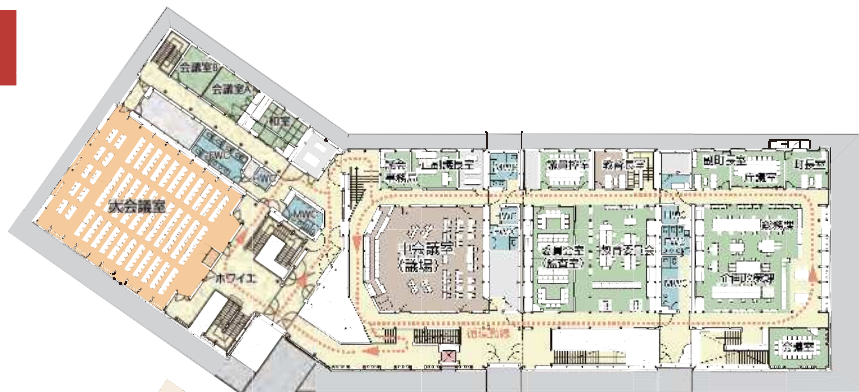
設計期間 2015年9月～2017年3月
 施工期間 2017年7月～2020年1月

敷地面積 16,349.16㎡
 建築面積 3,815.03㎡
 延床面積 【まちづくり複合施設】 4,558.52㎡
 【エネルギー棟】 74.52㎡
 【書庫棟】 183.41㎡
 【車庫棟】 241.25㎡
 【防災倉庫】 256.18㎡

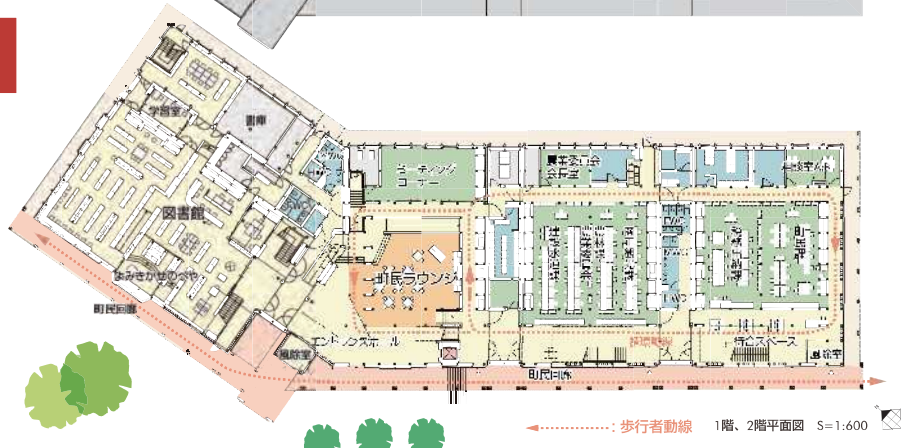
構造規模 【まちづくり複合施設】 木造 地上2階
 【エネルギー棟】 木造 地上1階
 【書庫棟】 木造 地上1階
 【車庫棟】 S造 地上1階
 【防災倉庫棟】 S造 地上1階

白鷹町

2F



1F



歩行者動線 1階、2階平面図 S=1,600



こどもたちのお気に入りの場所となるよみかぜのへや
よみかぜのへやのロフト空間
アプローチだけでなく多目的に利用できる町民回廊
前面道路から活動の様子がうかがえる
周辺のまちなみと調和する施設



アーチ状の架構が並び開放的な大会議室



エントランスとつながる開架スペース
1、2階が一体的につながる待合スペース
明るい執務スペース
町民の様々な活動の拠点となる町民ラウンジ
各部署が見つけやすい待合スペース
議場だけでなく多目的に利用できる中会議室

■ 地域活性・地域林業復興・木材資源循環の契機となる施設

□ みんなが集まる施設

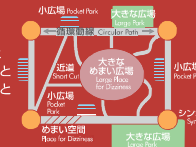
用事があるから行くだけではなく、何気なく施設を訪れ、みんなと顔を合わせ、みんなで一緒に楽しく活動する、新たなまちづくりの拠点となる施設です。

□ 施設の活動が町に広がる拠点

県道・町道に面する位置に図書館を配置することで、周辺から図書館の様子をうかがうことができ、施設の活動がまちへつながります。また、施設中央に屋内広場のような町民ラウンジを配置し、町民の様々な活動の拠点となります。遊環構造を適用し、利用者が移動しやすく、利用しやすい施設計画とすることで、人々の活動が施設全体に広がる計画としています。

◆ 遊環構造のモデル図と7条件

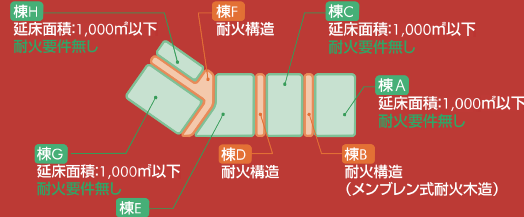
- ① 循環機能があること
- ② その循環(道)が安全に変化に富んでいること
- ③ その中にシンボル性の高い空間、場があること
- ④ その循環にめまいを体験できる部分があること
- ⑤ 近道(ショートサーキット)があること
- ⑥ 循環に広場などが取り付いていること
- ⑦ 全体がボラスな空間で構成されていること



□ 町産材を最大限活かす

施設を耐火構造で区切り、別棟が連なる計画とし、施設の大半が耐火の規定がわからない計画としています。そのため、木架構を現わしとすることができ、町産材の魅力・迫力を利用者へ伝えることができます。

◆ 別棟の考え方



内装においても町産産ぎ材をふんだんに使用し、親しみやすく温かみのある空間づくりに配慮しています。エネルギー棟においては、町産材を燃料としたバイオマスボイラーを採用し、空調熱源を確保しています。

◆ 杉材使用数量表(複合施設棟・エネルギー棟・書庫、車庫棟全て含む)

仕様	材種	産地	使用数量
構造材	杉材 4m 以下	山形県白鷹町	846.59m ³
構造材	杉材 5m 以下	福島県産	419.68m ³
構造材計	杉材		1,266.27m ³
下地材・造作材	杉材 4m 以下	山形県白鷹町	309.91m ³
下地材・造作材	杉材 5m 以下	福島県産	14.70m ³
下地材・造作材計			324.61m ³
床 CLT	杉材	山形県白鷹町	121.13m ³
使用木材(杉材) 総計			1,712.01m ³
山形県白鷹町産杉材計			1,277.63m ³
山形県白鷹町産杉材以外計			434.38m ³

□ 町民参加による施設づくり

設計時に町民ワークショップを実施し、施設計画に関する意見交換、試験伐採等に町民に参加していただくなど、町民とともに施設計画、白鷹町産杉材の理解を深めました。地域産材の特性と活用方法を知ることで、これまで関心が低かった森林の重要性を認識するとともに、植林、育林、伐採、利用を繰り返す「緑の循環システム」の再構築に貢献しました。



町民が参加した試験伐採
町民への伐採地の説明
設計段階で地元生産業者との対話を実施
町民ワークショップの様子